

り変化を促すという点ではキャリアコンサルティング向きではないかと思えますし、理論をクライアントにあわせて用いることができるように一流の指導者から心理療法を統合的に学ぶ「KSCC 統合的心理療法セミナー」や、求められるキャリアコンサルタントになるためにキャリアコンサルティングのさまざまな実践現場のことを学ぶ「キャリア・ビジネスコース」などもありますので HP で確認してみてください。もちろん、キャリアコンサルタント養成講習も既定のカリキュラムの他に木村周先生や宮城まり子先生による特別講義などでキャリアコンサルティングの本質を学んでいただくことを大切にしています。

●学びの機会は多そうですね。古今堂さんご自身は最近スポーツ選手のメンタルトレーニングも行っているとか

知り合いの日本ライトフライ級ボクサーの久田哲也選手のメンタルトレーニングを自分もジムに通いながら行っています。ここでは深くは説明しませんが、ポジティブシンキングや精神論ではなく、体調面のような自分がコントロールできないようなマイナス要素が起きた時に、それをどのようにコントロールして少しでもプラスに持っていきパフォーマンスがあがるようにするか。それがメンタル面のトレーニングなんですね。ラグビーの五郎丸選手や野球のイチロー選手が行うルーティンのように、人の心はそういうものに影響を受けるんだということです。

「なぜ、私がそのようなことをやっているのか」と不思議に思われる方もいるかもしれませんが、それは顧客である選手が必要を感じてくれているからです。もちろん専門性や資格は必要ですが、それらも「こいつは大丈夫だ」と顧客に認められて信頼関係が無ければ仕事にはなりません。当法人にくるキャリアコンサルタントやカウンセラーの求人情報はメルマガ登録者の方々に提供していますが、自分で価値を伝えて提案できる、いわゆる仕事を組み立てる力があれば、仕事の可能性はさらに広がるのではないのでしょうか。メンタルトレーニングにしても、スポーツをやっている人はたくさんいますし、受験生や社会人の仕事にもそのスキルは活かせるように思います。キャリアコンサルティングにしてもまだまだ未開拓の領域があると思います。

●可能性を柔軟に探っていくことが大事ですね。最後に読者の方にメッセージをお願いします

試験対策も必要だとは思いますが、キャリアコンサルティングを学ぶことは大事だとか楽しいとか、カウンセリングっていいもんだな、学び続けたいと思えることを大切に講座の運営をしています。とにかく試験に受かれば、ということで勉強を続けるのはつまらないし、そもそもキャリアカウンセリングはそういうものではないはず。自分の人生とある意味向き合う、人生を振り返る、という学びのはずなので、いろいろな講師に出

会っていろいろと学んでいただきたいと思います。養成講座では、「なかなか簡単なものではないね」といったことがわかるくらいで、そこからまたスタートすればいいと思います。どんなことを学びたいといったことは相談に乗りますので、事務局にもどうぞお気軽にお声がけください！

【 団体基本情報 】

公益財団法人 関西カウンセリングセンター

(所在地：大阪府大阪市北区西天満 2-6-8 堂島ビルヂング 5階)

団体の HP はこちら→ <https://www.kscce.or.jp/>

養成講習の HP はこちら→<https://www.kscce.or.jp/?p=301>